

ようこそ

初習言語科目へ

2025



- ・韓国語
- ・ドイツ語
- ・フランス語
- ・中国語

薬学部新入生の皆さん

ご入学おめでとうございます。

皆さん、大学では初習言語を始めましょう。昨年度、初習言語を履修した薬学部の新入生へのアンケートでは、履修してよかったかという質問に対し、94%の学生（そう思う 88%・まあそう思う 6%）がよかったと回答しています。

・言語文化科目の履修について

薬学部では言語文化科目 6 単位が必修になっています。

そのうち 4 単位は、1 年次で履修する英語基礎科目が必修なのですが、残りの 2 単位は、初習言語基礎科目（ドイツ語 1/2・フランス語 1/2・中国語 1/2・韓国語 1/2）・言語文化応用科目・言語文化講義科目のどれから選んでもよいことになっています（選択必修）。

初習言語を履修すれば、1 年次で言語文化科目 6 単位を修得し終えることができます。前期は入門編、後期は初級編です。興味を感じたら、ぜひ、前後期を通して履修してください。6 単位を超える単位は、卒業単位に算入されます。「お試し」あるいは「必修単位を早めにとるため」に、前期の「……語 1」だけ履修することも可能です。でもその場合、もし面白かったら後期に「……語 2」を履修登録・変更ができるよう、2 単位分は空けておいてください（薬学部の年間履修単位の上限は 50 単位未満です）。

・初習言語の授業について

授業は薬学部の必修とバッティングのない時間帯で週 2 回、水曜 2 時間目と金曜 4 時間目に設定されています。このクラスは、法学部・人文学部社会学科の学生も一緒に受講しますので、大学で友達を増やす機会になるでしょう。

・多様化する社会へ

ベルリンで医学を学んだ森鷗外以来、医・薬学と伝統的にかかわりの深いドイツ、漢方や本草学のルーツとなった中国、日本と一番近く、様々な文化的交流が盛んな韓国、芸術やモード、グルメで憧れを呼ぶフランス：これらの国のことばを学べば、皆さんの視野は一気に広がります。ダイバーシティが進んでいくこれからの社会では、日本や英語圏だけでなく、多様な国籍・文化的背景をもつ人たちとの交流が必要になってきます。初習言語は、そのような多様性へ通じる窓なのです。大学 1 年次は、初めてのことばを学ぶチャンスです。

楽しく初習言語を学び、その国とことばを知るよろこびを感じてみませんか。

◎ 韓国語



これからのグローバル（Global+Local）時代を生きる皆さんにぜひ**隣の国の言葉**を学んでみることをお勧めします。**韓国語**を受講するようになった皆さんは、大学の4年間を通して韓国語の文字である「ハングル」を読むところから始まり、**挨拶や簡単な決まり文句を話し**、徐々に単語と文の意味が分かるようになるでしょう。さらには、言葉を通して**隣の国の文化を理解し**、韓国語を話す人々に自分の生まれ育った社会や文化について語りたいという気持ちになってくれることを願っています。

ここで、韓国語は全く分からないというあなたのためにいくつかのTipをお教えしましょう。

* **韓国語の文字**である「**ハングル**」は、10個の基本母音字と14 個の基本子音字からなっていて、英語のアルファベットの26個よりも2個少ないのです。つまり、**24個の文字さえ覚えてしまえば**、授業の初日から韓国語が読めるようになります。

* 日本語と韓国語は、**語順と文法がよく似ている**だけではなく**語彙面でも共通点**があります。一例として、日本語の「都市」「図書館」「運動」は、それぞれ韓国語で[トシ][トソグァン][ウンドン]と発音されます。これは、日本語と韓国語が共に漢字圏に属しているため、**漢字をベースにした言葉の発音が非常に似ている**からです。

この他にもまだあなたの知らない韓国語と日本語のふか〜い関わりを、今度はぜひ授業の中で体験してみてください。

授業案内

◇ 基礎科目—「韓国語1」「韓国語2」(1年次)／「韓国語3」「韓国語4」(2年次以上)

前期には「韓国語1」を学びます。「韓国語1」では、韓国語の文字を読む練習から始め、簡単な決まり文句や挨拶表現を勉強し、基本語彙もしっかり学びます。「韓国語1」は、「ハングル能力検定試験5級」を学習到達目標としています。後期の「韓国語2」では、語学力をさらにアップするとともに、幅広い韓国文化に接する機会を多く設けています。後期が終わる頃にはあなたもちょっとした韓国通になっているかもしれませんね。「韓国語2」は、「韓国語能力試験 TOPIK I (1級)」を学習到達目標としています。

基礎をよりしっかり固めたいという方には、基礎科目「韓国語3」「韓国語4」をお勧めします。1年次から2年次にかけて基礎科目韓国語1～4を学ぶことで、「韓国語能力試験 TOPIK I (2級)」の学習能力を確実に身につけることができます。



◇ 応用科目 (2年次以上)

基礎科目の「韓国語1・2」を修了した方が受講できます。

応用科目としては、言語の4技能の習得に適した「韓国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「韓国語リーディングⅠ・Ⅱ」「韓国語ライティングⅠ・Ⅱ」「韓国語ステップアップ」「実用韓国語講座Ⅰ・Ⅱ」があります。2年次では、自分が学びたい授業科目が自由に選択できます。選択科目の特徴や学習レベルについては、1年生後期の授業で、別途掲示案内等が行われます。

◇ 言語文化講義科目 (2年次以上)

基礎科目の「韓国語1」を修了した人なら誰でも受講できます。

「韓国語圏文化研究」は、韓国語の基礎力を身につけた上、さらに文化理解に焦点を当てた講義科目となります。履修は半期の単位でのみ可能ですので、前期または後期の時間割の都合に応じて受講してみてください。きっと今まであなたが知らなかった新しい韓国文化に出会えるはずです。

授業外活動

正規の授業科目の他にも韓国語の先生と楽しくおしゃべりしながら学べる「チャットルーム」の時間が設けられています。また、検定試験も充実していて、それぞれ「韓国語能力試験」と「ハングル能力検定試験」が年2回以上実施されます。愛媛県の指定試験会場は、なんと松山大学だけ！その他、夏休みを利用した短期韓国語研修講座や海外語学研修助成制度(春季・夏季)、協定校で学ぶ6か月以上の派遣留学制度など、様々な留学プログラムで皆さんの語学力アップをサポートしています。

◎ ドイツ語

カルテ、レントゲン、アレルギー、クランケ……。これらの医学用語はドイツ語です。薬学・医学でよく使う外国語は英語ですが、日本の医学・薬学は伝統的に、ドイツと強いつながりを持っていました。ちなみに「薬学」はドイツ語で "Pharmazie"（ファーマツィー）。英語の "Pharmacy"（ファーマシー）と似ていますね。それにはわけがあります。

1. ドイツ語と英語はゲルマン語由来の兄弟言語です。だから単語も文法も**英語に似ているので、とっつきやすい。**
（英：I study Pharmacy. 独：Ich studiere Pharmazie. 日：私は薬学を学んでいます。）
2. でも、**発音はローマ字風で英語よりずっと簡単。**（Haus [ハウス] = 家、Apotheke [アポテーケ] = 薬局）
3. 英語と同じアルファベットを用いるので、**最初から文字が読める。**



福島での原発事故後、ドイツはいち早く脱原発を実現しました。これは市民の高い環境意識の表れで、松山の姉妹都市フライブルクも、ドイツの環境首都として知られています。

ドイツ語圏はヨーロッパの中心部に位置します。ヒトラーのナチス・ドイツ、ベルリンの壁が象徴する冷戦など、暗い過去を正視しつつ、ドイツはEUを経済的・政治的に牽引しています。ドイツ語を母語とする人は、約1億人を数え、ヨーロッパ最多です。中世の雰囲気を残す街並み、アルプスの風土とウインター・スポーツ、ベートーベンをはじめとするクラシック音楽、BMW、ベンツ、ポルシェといった高級車、サッカーのブンデスリーガなど、文化やスポーツの面でも、ドイツ語圏は魅力にあふれています。

薬学部は6年制です。この長い6年のうち1年でも、新しい外国語を学びましょう。前期・後期、履修するだけでも、基礎は学べます。ドイツ語は、あなたの大きな選択肢の1つです。



◎ フランス語

Bonjour！こんにちは！フランス語へようこそ！

大学ではフランス語を勉強して、卒業旅行には、芸術、文化、美食、ファッションの国フランスへ行ってみましょう！その時には、授業で覚えたフランス語を使って、「アン・カフェ・シルヴブレ」（コーヒーを一杯ください）、「ウエラ・スタッション・ドゥ・メトロ？」（地下鉄の駅はどこ？）というように、フランス人とのコミュニケーションを楽しみましょう。



ディジョンの旧市街

■ 言語文化基礎科目

薬学部のフランス語は、1年次前期後期に週二回の授業です。1年生の内に、集中的に勉強しましょう。「フランス語は何となく難しそう…」と思っているあなた！そんなことはありません！フランス語には英語と形がよく似た単語がたくさんあります（英単語の約半分はフランス語起源なので）。例えば「テーブル」は、フランス語でも Table と綴ります。英語と同じですね。あとは、フランス語の発音と綴り字の規則を覚えれば大丈夫。フランス語の発音規則は英語よりもずっと例外が少ないので、半年でマスターしてしまいましょう（ちなみに Table はフランス語だと「ターブル」とローマ字風に発音）。授業では、発音と文法を中心にフランス語の基礎を勉強しながら、基本的なフランス語会話を声に出して読んだり、聞いたりします。ペアになって、相手に質問したり、自分のことを答えたりと、先輩達もフランス語会話の練習を楽しんでいます！1年の終わりには実用フランス語検定試験5級に合格できるくらいの実力が身についているはず。やる気のある人は、11月にチャレンジしてみましょう！



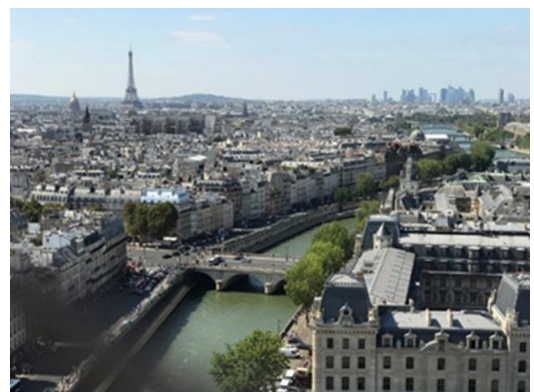
フランス人の先生とクレープ作りに挑戦！



留学生との交流

*実用フランス語検定試験（仏検）は、松山大学が愛媛大学が会場となり、毎年6月と11月に実施されています。申し込みは松山大学生協でできます。

授業では、フランスの地理、文化、歴史について、ビデオを見ながら広く学ぶ時間を取っています。フランスのワインの産地、パリの街角のカフェ、ファッションブランド街、ゴッホやセザンヌやモネの描いた風景、ルーブル美術館や凱旋門やヴェルサイユ宮殿の歴史、ノートルダム大聖堂やシャルトル大聖堂などの建築様式などなど。これであなたもフランス通に！



セーヌ河とエッフェル塔

より詳しいことは4月からのフランス語の教室にて——ア・ビヤント！じゃあ、また！

◎中国語

欢迎来到汉语世界！

中国語の世界へようこそ！

中国語に挑戦すれば、世界の総人口中5分の1の話者と交流ができ、さらに、4000年の歴史をもつ中国語の世界を、自分のものにできます。また、古今東西が混じりあって大変貌を遂げつつある中国、それも自分の未来のフィールドにすることができるのです。

さあ、中国語を学んで、海を超えて中国へひとつ飛び！

基礎科目を1年間しっかり学んで、新しい世界の扉を開きましょう！

学中文，到中国！

■ 中国語基礎科目

1年次配当の基礎科目1・2では、生きた中国語を楽しく学びます。週2回の授業は、基本的にネイティブの先生が担当します。ときには、先生が中国の世界遺産や文化を紹介してくれます。薬学部の授業では、先生が世界遺産や文化以外に、「漢方薬」についても紹介してくれます。



授業の様子



中国で販売されている漢方薬

みなさんは授業で中国独自の略式漢字（簡体字）とローマ字による発音記号（ピンイン）を学びます。「簡体字！？ピンイン！？何それ！？」と思ったかもしれませんが、心配することはありません。みなさんは普段から漢字を使っているので、すぐに簡体字に慣れるでしょう。ピンインについても、新しい文字を学ぶわけではないので、何度も読めば慣れてきます。

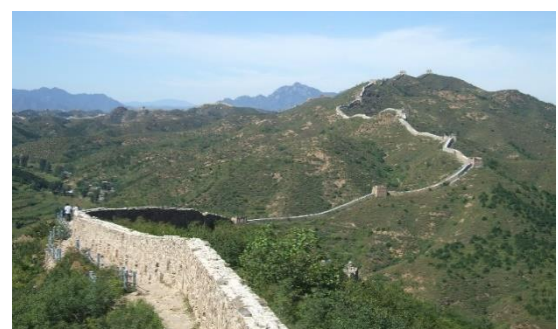
また、授業とは別に、自由な雰囲気の中でネイティブとの会話を楽しむ「チャットルーム」も開かれていますので、興味があれば積極的に参加してみてください。

*以下のウェブサイト（検定試験）も、ぜひのぞいてみてください。

中国語検定試験（中検）
<http://www.chuken.gr.jp/>

HSK（漢語水平考試）
<http://www.hskj.jp/>

中国語コミュニケーション能力検定（TECC）
<http://www.tecc.jp.com/>



“长城”（万里の長城）



GO ABROAD !
STUDY ABROAD !